



1階ロビーは伝統の職人技と現代の建築技術が融合した空間。木組みの技を用いた舟底天井が大らかでモダン。若手作家のイスに座りのんびりと。右、地下1〜2階を貫く土壁は、左官職人が削り出して仕上げたもの。館内各所にもものづくりの精神が宿る。



お土産



鋸、鉋(かんな)、墨壺など、展示で見た大工道具を全面にあしらった(大工の手ぬぐい)1,000円。大工道具をモチーフにした可愛いキーホルダー各870円。鉋型の鉛筆削り650円。ミュージアムグッズもお宝感満載!



〒465-0822 神戸市中央区熊内町7-5-1  
☎078-242-0216  
http://dougukan.jp  
午前9時30分〜午後4時30分(入館は午後4時まで) 入館料/一般500円、大・高校生300円、65歳以上200円  
※「木工体験」は開催日など詳細をホームページで要確認  
月曜(祝日の場合は翌日)休 ⑤5台  
道案内/電車→地下鉄西神・山手線 新神戸駅から東へ徒歩約3分 車→阪神高速神戸線生田川出口から北西へ約5分

## 企業・産業博物館で兵庫の魅力を再発見!

### フロインドリーブ

築80年以上の教会をリノベーションした、神戸を代表するベーカリー&ショップ。2階カフェは自家製パンを味わうメニューが大人気。2014年にかつての礼拝堂の姿へとインテリアが復刻され、モノクロの床やテーブルセットがシックな空間で喫茶やランチを楽しめるように。開放感あふれる高い天井のもと、建築美も目のごちそう。

立ち寄り



一番人気のオリジナルローストビーフサンドウィッチ2,052円。自家製ローストビーフと焼き立てパンが幸せな出会い。



〒465-0822 神戸市中央区生田町4-6-15 ☎078-231-6051  
午前10時〜午後7時(カフェは午後6時30分ラストオーダー) 水曜(祝日の場合翌日)休 ⑩10台 [竹中大工道具館]から南西へ徒歩約10分

旧神戸ユニオン教会をリノベーション。昭和4年にW.M.ヴォーリズが設計、竹中工務店が施工したゴシック建築で国登録有形文化財。現オーナー夫妻が結婚式を挙げた思い出の館を今に守る。



館長の赤尾さん。「六甲山の緑に溶け込む建物や展示内容が評価され、ミシュラン・グリーンガイドで二つ星を獲得。ゆっくり過ごしてください」。

### 匠の技と心に感動! 日本唯一の大工道具博物館。

中央区

「時代とともに失われゆく大工道具を後世に伝えたい」と中山手通に建てられた同館が30周年を機に移転、オープン。移転先は新神戸駅近く、[竹中工務店]が大正時代に本店を構えたゆかりの地。伝統の職人技を散りばめた和風建築の建物は地上1階、地下2階。7つのゾーンを巡り、大工道具の世界に浸ることができるぜいたくな空間だ。「テーマは五感で体感できる博物館。触ってもらえるハンズオン展示や、貴重な映像を交えて工夫を」と赤尾建蔵館長。20世紀半ば、日本の大工道具一式が約179点もあったのに対し、ドイツや中国は約60点。木肌の美しさを愛し、表現するために大工道具にこだわり、技を極めた匠の世界を肌で感じたい。



# 心躍る! 兵庫の博物館。



展示の目玉が、吹き抜け空間にそびえ立つ7.3mの国宝・唐招提寺金堂の柱と組み物模型。日本を代表する宮大工・小川三夫棟梁により実物大で再現。147ものパーツからなる木組みの美しさを間近でじっくり観察できる。



左下は京都・大徳寺玉林院養庵(国指定重要文化財)を実物大で再現した茶室のスケルトン模型。中に入り数寄屋大工の仕事が観察できる。右上は手仕事の最盛期だった20世紀半ばの大工道具一式。ノミ一つでも目的に応じて多彩。左下の触れる木組模型は、釘を使わず木と木を繋ぐ精巧なつくりで感動! 右下は水曜と土・日曜、祝日開催の木工体験。箸、スプーン、ミニスツールなど12種を手づくり(料金・開催日など詳細はホームページで要確認)。



こんなのがつくれる!

地域とともに発展した、兵庫を代表する歴史や産業の博物館。時間をかけて見たい大型館、全国から注目される貴重な収蔵品、試食や製作体験など、「鑑賞」だけでなく楽しみが満載!

撮影/青木崇 Ayami 前田博史  
取材文/伊藤順子 新谷慶子 杉田裕路子 牧野しのぶ 小野修平